

事業所名 **アシストⅢ** 支援プログラム (参考様式) 作成日 **令和8年 3月 14日**

法人 (事業所) 理念	【未来の安心を創造する】利用者・職員・その家族からあらゆる不安を取り除き・利用者・その家族の人生の伴走者になり、良いときも悪いときも一緒に悩み、喜び、成長をしていき、振り返ったときに、良かった、楽しかったと思えるように日々支援をしていきたいと思います。						
支援方針	・障がい児・障がい者の方の可能性を広げ、できた喜びを分かち合い、自信に繋げていきます。 ・スタッフの笑顔が利用者の方の笑顔につながる、互いに信頼できる関係づくりを進めていきます。 ・保護者の方にも親身に対応し、安心して預けられる事業所づくりを行っていきます。						
営業時間	平日	10時	30分から	18時	00分まで	送迎実施の有無	あり なし
	学校休業日	9時	30分から	17時	00分まで		
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	基本的な生活習慣の向上・確立：手洗い、うがいはじめ、マスクやティッシュの使用等の衛生面に関する理解、実践。シャツの裾が出ていないか等身だしなみへの意識向上や、季節に合わせた服装の意識、暑い時や寒い時の衣服の調整等や理解に向けた取り組み。定期的なトイレ誘導を行い排泄の習慣づくり、必要に応じてトイレトレーニングも実施し、日常生活を送るうえでのスキル向上を図る。それぞれの苦手としている課題等を自立課題としてより取り組みやすい形に変換し、楽しみながら理解できるよう工夫したり、集団・個別を適宜用いてスキルアップを図っていく。					
	運動・感覚	運動能力の向上：楽しみながら取り組める身体能力に応じた運動プログラム (室内サーキット、大縄跳び、ラジオ体操、ダンス等) を実施。また、バランス感覚や協調性を養うゲーム (ボール運び、障害物レース等) の実施。視覚+認知+運動→視覚情報を適切に認識し体を動かすライクネティック (視覚から認知のズレ運動機能のスレを修正し、脳機能改善を行うプログラム) や、2つの動きを同時に処理して行うゲーム等の実施。身体を動かして発散できる内容づくりを進めていく。 感覚統合の支援：感覚処理の向上を目的とした創作活動 (粘土遊び、スライムづくり等)。創作に用いる各種文房具を使うことによる手先を使った微細運動の実施。					
	認知・行動	見通しを持った集団生活：自立課題等を通じて時計や時間の理解、時計も気にかけて行動する等の時間を意識した過ごし方、一日のスケジュールを確認する等でデイの流れに沿った集団行動の習得を目指す。集団指示の理解、行動：個別への声掛けや分かりやすい言葉を用いる、ジェスチャー等で全体指示に注目してその内容を理解した上で行動促進を進める。耳で聞いて行動に移すことを習慣的に、行動スピードを上げたり集中して聞くことができる環境づくりを実施していく。					
	言語コミュニケーション	言語表現能力の向上：語彙力を増やすために日常会話から学校の出来事等話したり考えて質問に答えることや、カードゲーム等で楽しみながら言葉を増やしていく。併せて気持ちを表現する機会の創出。言語表現が難しい場合にもジェスチャー等で相手に要求を伝える等コミュニケーションスキルを確立していく。 非言語コミュニケーションの学習：アイコンタクトやジェスチャーを用いたコミュニケーション活動。表情や声のトーンで気持ちを伝える練習。					
	人間関係社会性	チームワークの練習：グループ活動や共同制作を通じて協調性を身につけたり、少人数のチームで取り組む際は話し合い等で他者との会話を増やしていく。 遊びを通じたコミュニケーションスキルの獲得：ジェスチャーゲームやドッジボールなど、遊びを通してコミュニケーションスキルを学ぶ機会の創出。ルールを理解し相手と協力したり、意見を伝えたりすることで、社会性やコミュニケーション能力を育てていく。 社会的ルール理解と実践：挨拶や順番待ちなど、日常的な社会的マナーを実践する場面を設定。					
家族支援	情報提供と相談支援 定期的な保護者面談 お子さまの支援状況や課題、成長について保護者と共有し、家庭での対応方法とデイでの対応方法を統一する等連携を図っていきます。 専門家からのアドバイス 必要に応じて言語聴覚士などの専門職によるアドバイスを実施します。 地域資源の紹介 福祉サービス、療育機関、就労支援サービスなど、利用可能な地域の支援機関の紹介・家庭での対応方法の指導 子どもへの接し方のアドバイス 行動面、コミュニケーション面での課題に対し、適切な対応方法を伝えます。例えば、生活習慣を整えるための具体的な支援方法など。 具体的なスキル練習の提案 家庭で取り組める課題 (例：金銭感覚を養うための買い物練習、時間の管理など) を提供し、実践をサポートします。 心理的サポート・カウンセリングの提供 子育てのストレスや悩みを軽減するため、保護者向けの個別カウンセリングを実施します。 ペアレントトレーニング お子さまの行動を理解し、適切に対応するためのトレーニングを行います。実践的な内容で、家庭での育児ストレスを軽減します。	移行支援	移行計画の作成と定期的な見直し 年に1回、関係機関 (学校、相談支援事業所、就労支援機関) と合同でカンファレンスを実施します。 学校や保護者との連携強化 定期的な保護者面談を実施し、進路希望や不安点を確認します。 学校訪問を行い、学校の先生と情報共有します。 学校での実施とデイでの様子を共有し、一貫性のある支援を行います。 進学・就職の情報提供と見学の機会 卒業生の就職場所等の情報の提供を行います。 移行後のフォローアップ支援 必要に応じて、進学・就職先と情報共有し、支援を継続します。 先輩の体験談を共有し、新たな環境に適応しやすく情報共有します。				
地域支援・地域連携	地域の学校との連携強化 特別支援教育コーディネーターや担任と定期的な情報共有会を開催 学校での個別支援会議やケース会議への参加。 先生向けの障がい理解・支援研修の提供。 他事業所 (相談支援・訪問看護・療育施設など) との連携 定期的な事業所間の合同研修・意見交換会の実施しましょう。 必要に応じて、連携支援計画を立てましょう。 地域の障害児支援ネットワークの構築していきましょう。 福祉・医療機関との連携 作業療法士・言語聴覚士・心理士などと連携した支援プログラムの提供 障がい児支援に関する最新情報を共有し、質の高い支援を実施 地域に開かれた事業所づくり 町内会や子ども会等合同でのイベント企画等を通じて地域住民との交流を図る	職員の質の向上	定期的な研修の実施 障害特性の理解、支援技術の向上、応急対応、法制度の変更などについて、月1回の勉強会や外部研修を実施します。 OJT (オン・ザ・ジョブ・トレーニング) の充実 ベテラン指導員によるマンツーマン指導を導入し、実際の支援場面での対応を学ぶ機会を増やします。 事例検討会の開催 児童ごとの支援方法について意見交換する場を設け、チーム全体で支援の質を高めます。 スーパービジョンの導入 外部の専門家 (心理士、作業療法士、ソーシャルワーカーなど) による指導を受ける機会を作ります。 振り返りとフィードバックの強化 日々の支援の振り返りを行い、他の指導員や管理者からのフィードバックを受けて成長できる環境を整えます。 マニュアルの整備と更新 新人向けの基本マニュアルと、実践的な事例をまとめた応用マニュアルを整備し、定期的にアップデートします。 ICT (情報通信技術) の活用 個別支援計画や日報の作成を効率化するためのアプリ導入や、オンライン研修の活用を推進します。 職員間のコミュニケーション促進 チームミーティングや意見交換の場を設け、指導員同士が互いに学び合える環境を作ります。 保護者・地域との連携強化 保護者との情報共有を密にし、地域の支援者や関係機関と協力しながら、より良い支援を実現します。				
主な行事等	春 (4月~6月) 入学・進級お祝い会 お花見 こどもの日イベント (鯉のぼり制作、ゲーム) 母の日・父の日制作 (プレゼント作り) 避難訓練 (地震・火災など) カ土交流会 お誕生日会	夏 (7月~9月) 七夕 (短冊作り、飾りつけ) 夏祭り (屋台遊び、ヨーヨー釣りなど) 水遊び すいか割り 校外学習 (公園・牧場・工場見学等) カフェ・カラオケ体験 お誕生日会	秋 (10月~12月) 運動会 (ミニ競技) ハロウィンイベント (衣装・お菓子配り) 避難訓練 (津波・台風など) 紅葉狩り クリスマス会 (ミニゲーム・ワークショップ キッズDJ・パザー等) お誕生日会	冬 (1月~3月) 新年会 (おせち、年賀状づくり等) 節分 (豆まき、鬼のお面作り) ひなまつり (ひな人形制作・ちらし寿司) お別れ会 (卒業の送別会) お誕生日会			